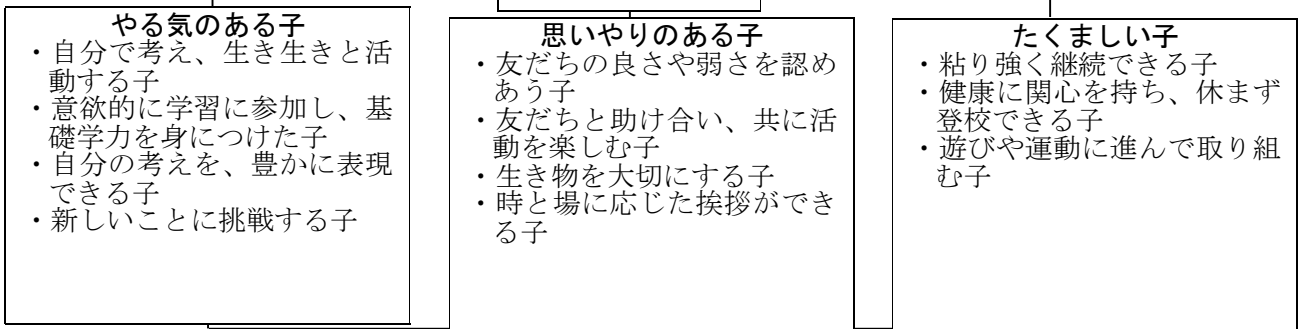


《教育目標》

新しい時代に生きる心身ともに健康で、実践力のある子どもの育成
やる気いっぱい・やさしさいっぱい・元気いっぱい・明るく楽しい学校

目指す児童像



めざす学校像

- ・子どもも教師も明るく生き生きとした学校
- ・わかる授業を行い、確かな学力を身につけさせる学校
- ・清潔で機能的に整備された学校
- ・地域や家庭との連携により、共に子どもの成長をめざす学校

めざす教師像

- ・子どもをよく理解し、自己実現を支援する教師
- ・絶えず研修を重ね、子ども達と共に学び、伸びる教師
- ・豊かな感性を持ち、高い専門性を備えた教師
- ・互いに認め合い、助け合い、磨き合う教師
- ・子ども、地域社会、保護者に信頼される教師

経営方針

- 子ども達のための学校づくりを推進する。
 - ・学ぶ楽しさ、分かる喜びを味わえる授業づくり
 - ・どの子にとっても、楽しくのびのびと過ごせる居場所づくり
- 全ての教育活動について、P（計画）・D（実践）・C（評価）・A（改善）の過程を通して、常に教育課程を工夫し、教育目標の具現化に努める。
- 教育目標具現化のために、教職員の研究・研修活動の活性化を図り、教育の専門家としての確かな力量の向上に努める。
- 心と体の健康づくりを計画的・継続的に推進する。
- 自己存在感を持たせ、自己管理能力の育成を図る生徒指導に努める。
- 教育環境の整備と充実を目ざし、効果的な活用と管理に心がけ、教育効果の向上に努める。
- 学校と家庭・地域との連携を密にし、信頼に応える開かれた学校づくりを推進する。
 - ・教育活動の自己点検、自己評価及び学校関係者評価を行い、その結果を公表する。
 - ・保護者や地域の要望に応え、学校の教育活動を常に公開する。

経営の重点

1 学ぶ楽しさ・わかる喜びを味わわせ、確かな学力を身につけさせるための学習指導法の充実

- 評価規準を明確にし、指導と評価の一体化を図り、学習指導の改善を図る。
- 課題別・習熟度別の少人数指導や個に応じたチャレンジ学習（ドリル）等の個別指導法、指導体制や指導方法の改善を図り、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
 - ・学習支援ボランティアや少人数指導による個別学習の支援、フレンドリーチューター（大学生）やペアレントチューター（保護者）等の活用
- あらゆる場で豊かな表現力を育成する。
 - ・発表機会の確保
 - ・ノート指導の徹底
 - ・スペースフェスタの実施
- 体験活動を充実させるための環境を整備する。
 - ・各教科や総合的な学習の時間との関連を図り、学年の系統性をふまえた体験的な学習や問題解決的な学習を重視する。（校地・学区内の自然や施設、人材の活用、移動教室、農山村留学の趣旨や子どもの実態をふまえたカリキュラムの開発）
- 生活科・総合的な学習の時間の充実を図る。
 - ・指導計画の見直しと充実

- ・地域の実態を十分に踏まえた地域学習の充実（地域を知ることにより、地域が好きになり、地域を大事にしようとする心情を育み、何らかの形で地域に貢献できることをめざす）
- ・地域学習を柱とした情報・健康・環境教育の推進
- ・自分の考えを表現することを重視し、伝えあう力を育む活動の重視 →ペア・スフィアとの連携
- ・問題解決的な学習の重視し、学び方を学ぶ授業の推進
- ・学年の発達段階に応じたコンピュータリテラシーの定着

○外国語活動の充実を図る。

○1～4年の英語活動を通した国際理解教育

○読書活動の充実を図る。

- ・朝の読書、読み聞かせ（保護者会との連携）
- ・図書室の充実、学校図書館指導員との連携と活用

2 楽しくのびのびと過ごせる居場所づくりの推進

○子どもの良さを見だし、伸ばし、自己肯定感、充実感、連帯感を実感できる学年・学級経営をめざす。

- ・学年主任を中心に協力・協同による学年経営
- ・誰もが主役、互いに認め合い励まし合う、何でも言える、ルールに厳しい学級

○全校異学年交流活動を一層推進する。

- ・日常活動、行事等の充実（異学年グループでの遊び、全校遠足、運動会、送る会 等）
- ・グループリーダーの育成

○子どもが考え、生き生きと取り組む活動・行事の創造

- ・集会活動の充実
- ・実行委員会による学年行事の実施

○生き物を大切にし、植物を育てる活動を推進する。

- ・栽培活動の充実（作物を育て、加工する楽しみ、生活科・理科教材植物の栽培と観察）
- ・学校内外の花いっぱい運動（一人一鉢栽培、花いっぱい運動）

○特別に支援を必要とする子どもへのきめ細かな指導を徹底する。

- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育のための学校体制の整備
- ・観察記録等の作成及び管理（個別ファイルへの情報蓄積）
- ・個別指導計画の作成と実施（学級1事例の作成）
- ・保護者への啓発
- ・関係機関との連携

○道徳教育の充実

- ・年間カリキュラムに沿った計画的な指導と他教科・領域との連携
- ・いじめ防止プログラムの実践

3 健康教育の推進

○「健康な心と体をめざし、自ら実践しようとする子どもの育成」をめざした健康教育を継続し、体力の向上、心の健康づくり、体の健康づくりの諸活動に取り組む。

- ・体育学習の充実
- ・体力向上を図る常時活動の実践
- ・基本的な生活習慣の定着を図るための日常的な取り組み
- ・「歯と口の健康づくり」の推進と啓発活動
- ・学校歯科医や学校医との連携を図った健康づくり授業の展開

4 地域の方々や保護者の信頼に応える特色ある学校、開かれた学校づくりの推進

○特色ある学校づくりをめざし、創立以来取り組んできた「歯と口の健康づくり」を踏まえ、全教育活動において健康教育に取り組む。

○開かれた学校づくりをめざし、保護者・地域の方々との連携を図る。

- ・教育活動を行うための人材確保、人材を生かした学習活動の開発・実践
- ・校外学習の引率、クラブ活動の指導者や学習の補助

○普通の学校の様子、子どもの様子を見てもらうために学習参観を実施する。

- ・平日午後の参観、一日参観、自由参観

○学校・学年日より及び学校ホームページの内容を充実させる。

- ・学校の教育方針や行事、学校での子ども達の様子や活躍ぶり等の情報提供
- ・地域への提供、理解の促進

○職員、地域、保護者、児童による学校評価を行い、分析の上公表し、学校改善に生かす。